九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

自閉性障害児の社会的参照行動について

飯塚, 一裕
九州大学大学院人間環境学府

大神, 英裕
九州大学大学院人間環境学研究院

https://doi.org/10.15017/848

出版情報：九州大学心理学研究. 2, pp.69-72, 2001-03-31. 九州大学大学院人間環境学研究院
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

Kyushu University Psychological Research
2001, Vol.2, 69-72

自閉性障害児の社会的参照行動について

飯塚　一裕　九州大学大学院人間環境学府
大神　英裕　九州大学大学院人間環境学研究院

The social referencing behaviors of autistic children

Kazuhiro Iizuka *(Graduate school of human-environment studies, Kyushu university)*
Hidehiro Ohgami *(Faculty of human-environment studies, Kyushu university)*

This study intended to explore the social referencing which thought core problems for autistic spectrum disorder. 10 autistic children were examined in social referencing context. The points of analysis are whether they search information expressed by other person and regulate their own behaviors. The findings are following. 1)6 children showed social referencing and 4 children failed. 2)children who failed social referencing had a problem to regulate their own behavior, diffferences among them are related to abilities that understand emotion, intention by other person. For autistic spectrum disorderIt is considered that failure in social referencing derived from their problem of triadic interactive representation.

Keywords: Autistic spectrum disorder, social referencing, triadic interactive representation

問題と目的

自閉性障害の子ども達が見せる様々な社会的問題について，それが自閉性障害という固有の症状そのものに起因するのか，それにしばしば随伴するある種の知的能力の遅滞に起因するのかといった，彼らの中核的特性に関する議論は現在でも行われている（e.g. Baron-Cohen et al., 1985；Hobson, 1986：Mundy, Sigman & Kasari, 1990)。

その中で最近，Bacon, Fein, Morris, Waterhouse, & Allen（1998）は，自閉性障害児に関して，知的レベルの高低に関わらず社会的参照にある特異的な問題が表れていることを明らかにしている。そしてこの結果から，社会的参照場面において自閉性障害の特性が現れやすいという知見が得られている。

社会的参照とは，健常乳幼児においては一般的に生後９ヵ月以降に見られ，子どもがはじめての人や物，出来事に遭遇した際に大人の方を見て，その後に親が示す情動に合う形でその新しい状況に対処する行動のことである（Sorce, Emde, Campos, & Klinnert, 1985)。そこには，大人の方を見るという情報探索と，大人の情動に合わせて自らの行動を変化させるという行動調整の２要素が含まれている（Campos & Stenberg, 1981)。

また社会的参照の成立要件には，意図のある存在としての他者理解，他者情動の弁別的認知・理解，情報源として他者を見ようとする動機などがある（Saarni et al., 1998)。さらに，自己と他者の間に必ずある対象をはさんでいる社会的参照には，他者の心的状態に対する覚知が必須の要素になると考えられている（Gopnik & Meltzoff, 1994)。このように，社会的参照には心の理解の発達に関する要因が多重に含まれている。自閉性障害において，他者の心的状態の理解に特異的な側面が存在することは多くの研究で指摘されている（e.g. Baron-Cohen et al., 1985）ことからも，社会的参照行動の成否を調査することは，自閉性障害を理解する上で非常に有用であり，臨床的意義も大きいと考えられる。

自閉性障害児に関する研究で，彼らの社会的参照行動を直接取り扱ったものは少ない。Sigman, Kasari, Kwon, & Yirmiya（1992）の研究では，目の前にリモコン式のロボットが出現し，一緒にいる大人が恐れあるいは喜びを示すという場面において，彼らの社会的参照行動が観察された。だがここで明らかになっているのは，統制群と比較した場合に大人の方を見ることが少なかったということのみで，行動の変化については検討されていない。また，前述の Bacon らも，社会的参照の要素の中で情報探索のみを限定的に扱っている。これらの研究では，社会的参照のもう１つの重要な要素である行動調整の部分は問題にされていないため，社会的参照行動を示さない子ども達は具体的にどの部分でつまずいているかについて明らかになっていない。また Bacon らは，社会的参照の実験で用いられる対象に関しても，奇妙な音という明確性に欠ける音声刺激を用いている。このように自閉性障害児の社会的参照行動に関して，従来の研究で明らかにされている部分には限界があるため，社会的参照のプロセスにおける，自閉性障害児のつまずきを精緻に検討する必要があると思われる。

本研究では，社会的参照の全体像を正確に把握した上で，自閉性障害児は社会的参照のどの段階に困難さをもつか，その具体的なプロセスを明らかにするため，社会的参照場面を用いた実験を行う。

また社会的参照の個人差に関して，どのような規定要因が存在するかを明らかにすることは重要と思われる。本研究では社会的参照の成立要件の内，状況・情動の認知にあたるものとして①精神発達年齢（Mental Age 以下 MA）を，他者意図の理解について②共同注意の発達レベル，動機・人への関心については③ Wing（1996）の対人行動タイプを仮定し，それぞれを規定要因として取り扱う。そして，各要因と個人差との関連性について検討する。

方　法

対　象

本実験の対象となったのは，自閉性障害児10名（平均年齢=6:06・平均 MA=2:08）。彼らの共同注意発達レベル，また対人行動タイプに関しては，親を対象に質問紙調査を実施している。

実験手続き

本実験では，母親／実験者場面の2条件を各被験児に試行した。

被験児と大人（母親／実験者）がいる刺激の少ない部屋に対象（お面をかぶった人物）が突然入室する。対象遭遇時の被験児の反応とは逆の情動を大人は表出する(ex.被験児が肯定的な情動を表出した場合，大人はその反対の否定的な情動を示す)。対象入室から約1分後にお面をかぶった人物は部屋から退出する。

実験中の被験児の行動・表情は2方向からの VTR 撮影によって記録し，対象入室後60～75秒を分析の対象とした。

VTR 分析の方法

VTR の分析は以下の行動カテゴリーに基づいている。

被験児の視線の向きの変化　視線の向き（大人／対象／その他），注視の頻度と時間

被験児の行動及び表情の変化　対象への接近／回避・大人への接近行動の有無，大人の情動に対応した表情変化の有無

社会的参照に関する分析

本研究では，被験児が対象に遭遇した後，彼らが大人への視線移動を行い，さらにその後行動・表情の変化が見られた場合，すなわち情報探索と行動調整が生じた場合に，社会的参照行動が起こったと考える。

個人差を規定する要因に関する分析

被験児を社会的参照を行った群と行わなかった群に分け，① MA，②共同注意の発達レベル，③対人行動タイプの各要因について，その群間の違いを分析する。

結果と考察

全被験児に対して，2条件（実験者・母親場面）の実験を行った。なお，実験終了までに部屋から出ていってしまった場合や，1場面しか実験を行うことができなかった場合，その被験児は対象から外すこととした。

社会的参照のつまづきのプロセス

情報探索は被験児全員に見られ，行動調整は10名中6名に見られていた。この結果6名の自閉性障害児が社会的参照を行っていたことが明らかになった。本研究では Bacon らの結果とは異なり，情報探索を被験児全員がクリアしていた。これは自閉性障害児が認知されやすいとされる視覚的刺激を用いたためであると思われる。また，6名の自閉性障害児が社会的参照行動に成功していたことに関して，彼らに社会的参照が少ないとは必ずしも言えないことが示唆される。

社会的参照に失敗した被験児は，全員が行動・表情の変化，すなわち行動調整に困難を示していた。本研究において自閉性障害児の社会的参照の問題は，情報の探索は行ったとしてもそれを自らの行動調整に結び付けることができない，という形で表れたと考えられる。

個人差を規定する要因

社会的参照の成功群と失敗群で違いが見られたのは，MA と自発的な共同注意の発達レベルの要因であった(Figure 1 ～ 2 参照)。

精神発達年齢（MA）について　Figure 1 からは MA が社会的参照に影響を与えていることがうかがわれ，社会的参照の成否には状況・情動の認知能力が関連していると考えられる。これは Bacon らの指摘とは異なっているが，彼らは情報探索のみを限定的に社会的参照と捉えていたため，このように違った結果になったものと思われる。

共同注意の発達レベルについて　Figure 2 からは，応答よりも自発的共同注意の発達レベルが社会的参照に影響を与えていることがうかがえる。指さし等の共同注意行動に他者意図の理解が関係するという知見に関しては多くの共同注意研究である程度の共通理解が得られており，応答的共同注意は原初的な他者表象に，自発的共同注意は他者意図理解のより高度なレベルに関連すると考えられている（Tomasello, 1995）。このような他者意図の理解のレベルが行動調整のプロセスに関連し，社会的参照の成否に影響を与えていると考えられる。

自閉性障害において社会的参照行動の持つ意味

本研究の結果から，6名の自閉性障害児が社会的参照行動を示していることが明らかになった。本実験で半数以上の被験児が社会的参照に成功し，さらに情報探索に限って言えば全員が成功していたことに関して，自閉性障害児も，ある一定水準以上の社会的参照を示すことは

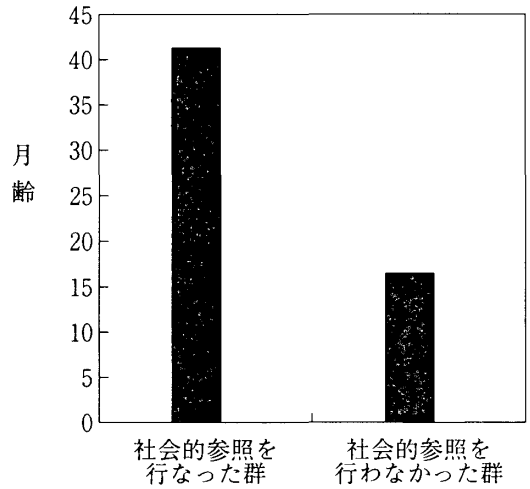

Figure 1　MAの平均

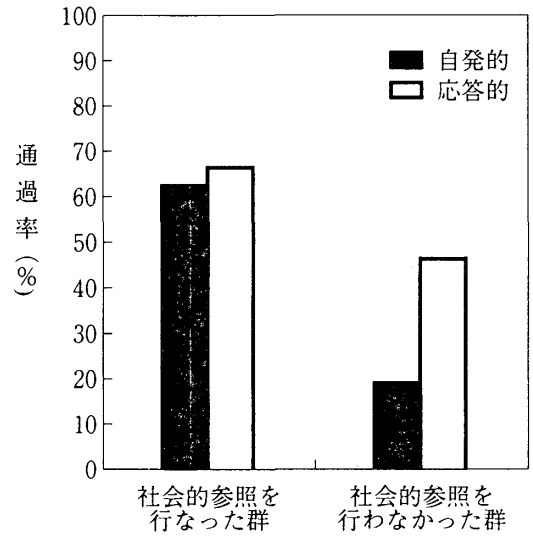

Figure 2　共同注意レベル（自発/応答）の平均

十分可能であることがうかがえる。

しかし，今回の実験場面よりもさらに複雑な状況，すなわちより日常場面に近い状況においても彼らが社会的参照を示すのかどうか，という問題について本研究で議論を進めることは難しい。今後は，本実験で用いられた社会的参照場面よりも複雑な要素，例えば状況のバリエーションや視覚的刺激・聴覚的刺激といった知覚モードを増やした場面において，自閉性障害児の社会的参照行動を調査することが課題となってくるだろう。

また，本実験において4名の自閉性障害児は社会的参照に失敗していたが，彼らは情報探索と行動調整を結び付けることに困難を持ち，その個人差はMA（状況・情動の認知），共同注意（他者意図の理解）と関連しているという興味深い結果が得られている。次からは，この結果の持つ意味について考察を試みたい。

社会的参照は，情動の弁別的理解，そして情報の指示的性質の理解という，少なくとも2種類の認知的な能力の発達を基盤として，あるいはそれらと連動して成立するものであると考えられている（Saarni et al., 1998）。情動の弁別的理解に関して，健常児においては少なくとも生後1年目の終わり頃までには，原初的な情動理解が成立すると多くの研究者が見なしており，それが社会的参照実験における乳幼児の然るべきパフォーマンスに結びついていると考えられている（遠藤・小沢,印刷中）。大人の顔や声に現れる情動表出の意味を弁別的に理解しているからこそ，避けるべき対象には回避行動を，近づくべき対象には好意的な態度をとることが可能なのである。また情報の指示的性質の理解とは，Tomasello (1995) によれば，他者を「何ものかを志向する主体 (intentional agent)」として理解しているということである。すなわち，自己と他者がある同一対象に対して共に注意を向けていることの理解，あるいは自己－他者－対象という三項関係の表象が，社会的参照には必然的に絡んでいるのである（Adamson, 1996）。

社会的参照を支えている情動の弁別的理解と，意図のある存在としての他者理解，この両方のスキルが存在して初めて，視線を大人へと向けるだけでなく行動まで変化させることが可能になるのであろう。

一方自閉性障害の子どもは，欲しい物を手に入れる以外の目的で他者と注意を共有する能力には限界があり，要求の指さしに比べて，対象に対する情動的な意図を共有しようとする叙述の指さしが少ないとされている (Sigman & Kasari, 1995)。またこのような三項関係における情動的な意味を含んだ共同注意行動の問題は，自閉症の障害特有の問題として近年注目を集めている（e.g.別府, 1999：Mundy, Sigman & Kasari, 1990）。

本研究において，社会的参照に困難を示す自閉性障害児は，情報探索と行動調整の結びつきの部分に問題を抱えており，その個人差は他者情動・意図の理解に関連することが明らかになっている。これは，彼らは実験場面で大人が何らかの情動を示していることに気付いてはいたが，その情動の意味や，自分と大人が同じ対象に対して共に注意を向けていることを理解することができなかったためであると考えられる。すなわち，自閉性障害児における社会的参照の失敗は，自己－他者のような二項関係ではなく，自己－他者－対象という三項関係表象に問題を抱えていることから生じていると示唆される。

今後は，実際の日常場面における他者との自然な相互作用の観察から，社会的参照行動あるいは原初的なコミュニケーション行動はどのように現れてくるか調査し，生

態学的妥当性に関する検討を行う必要があると思われる。そこから，自閉性障害児は社会的参照を行うことができるのか，またどのような他者理解を示しているかが，より明らかになるであろう。

引用文献

Adamson,L.B. (1996) : *Communication development during infancy*. Boulder,CO:Westview Press.

Adamson,L.B. & Bakeman,R. (1991) : The development of shared attention during infancy. *Annals of Child Development*, **8**, 1-41.

Bacon,A.L., Fein,D., Morris,R., Waterhouse,L. & Allen,D. (1998) : The Responses of Autistic Children to the Distress of Others. *J.Autism and Developmental Disorders*, **28**(2), 129-142.

Bakeman,R. & Adamson,L.B.(1984) : Coordinating attention to people and objects in mother-infant and peer-infant communication. *Child Development*, **55**, 1278-1289.

Baron-Cohen,S.(1985) : *Mindblindness:An essay on autism and theory of mind*. Cambridge,MA:MIT Press.

別府 哲 (1999) : *視線によるコミュニケーション* 正高信男編 ことばと心の発達① 赤ちゃんの認識世界 ミネルヴァ書房

Bruner,J.(1983) : *Child's talk :Learning to use language*. New York:Norton.

Compos,J.J. & Stenberg,L.R.(1981) : Perception,appraisal and emotion:The onset of social referencing. In M.E.Lamb & L.R.Sherrod(Eds.) *Infant social cognition:Empirical andtheoretical considerations*. Hillsdale,NJ:Erlbaum. 273-314.

Desrochers,S.,Richard,M.,Decarie,T.G., & Allard,L.(1994) : Developmental synchrony between social referencing and Piagetian sensorimotor causality. *Infant Behavior and Development*, **17**, 303-309.

遠藤利彦・小沢哲史 (印刷中) : 社会的参照の発達的意味および発達プロセスに関する理論的動向 心理学評論

Gopnik,A. & Meltzoff,A.N. (1994) : Mind,bodies and persons:Young children's understanding of the self and others as reflected in imitation and "theory of mind" research. In Perker, Mitchell, & Boccia (Eds.), *Self-awareness in animals and humans*. New York:Cambridge University Press. Pp.166-186.

Hobson,R.P. (1986) : The autistic child's appraisal of expressions of emotion. *J.Child Psychology and Psychiatry*, **27**(3), 321-342.

Hornik,R. & Gunnar,M.R. (1988) : A descriptive analysis of infant social referencing. *Child Development*, **59**, 626-634.

Mundy,P., Sigman,M., & Kasari,C. (1990) : A longitudinal study of joint attention and language development in autistic children. *J.Autism and Developmental Disorders*, **20**, 115-123.

Rutter,M. & Schopler,E. (1987) : Autism and pervasive developmental disorders:concepts and diagnostic issues. *J.Autism and Developmental Disorders*, **17**(2), 159-186.

Saarni,C., Munne,D.L., & Campos,J.J. (1998) : Emotional development:Action,communication,and understanding. *In Damon & Eisenberg* (Eds.), Handbook of child psychology (5th ed.), Vol.3 New York:Wiley. 237-309.

Sigman,M. & Kasari,C. (1995) : Joint Attentoin Across Contexts in Normal and Autistic Children. In Moore & Dunham (Eds.), *Joint attention:Its origins and role in development*. Pp.103-130.

Sigman,M., Kasari,C., Kwon,J., & Yirmiya,N. (1992) : Re sponses to the negative emotions of others by autistic,mentally retarted,and normal children. *Child Development*, **63**, 796-807.

Sorce,J.F., Emde,R.N., Campos,J., & Klinnert,M.D. (1985) : Maternal emotional signaling:Its effect on the visual cliff behavior of 1-year-olds. *Developmenal Psychology*, **21**, 195-200.

Tomasello,M. (1995) : Joint Attention as Social Cognition. In Moore & Dunham (Eds.), *Joint attention:Its origins and role in development*. Pp.103-130.

Wing,L. (1998) : *自閉症スペクトル*(久保紘章・佐々木正美・清水康夫監訳) 東京書籍

付記

本論文は，九州大学大学院人間環境学研究科に提出した修士論文 (2000年度) の一部に加筆修正を加えたものである。